# 総合学術研究科における3つのポリシー【人間文化学専攻】

# ■教育理念・目的

国際化、価値観の多様化、高齢化、少子化等、複雑化する現代社会にあって、精神的・社会的・身体的に健全な生活を営むための人間の在り方を、文化的・科学的側面から考究する研究分野を置いて、各研究分野の高度な教育・研究を行い、専門性の高い人材を養成します。

# ◆学位授与方針(ディプロマ・ポリシー: DP)

人間文化学専攻は、人間文化学専攻における教育課程編成方針に従い、人材目標および学修成果に裏付けられた力を身に付け、所定期間を在学して必要とされる単位を修得し、修士論文審査及び 最終試験に合格した学生に、「修士(人間文化学)」の学位を授与します。

### 【人材育成目標】

人間と社会のあるべき姿を探り、多様な文化の理解と健全な生活を営む専門知識、柔軟な思考力を身に付け、 地域社会に貢献できる高度な専門職業人、研究者を育成します。

#### 【学修成果】

多様な文化の理解と健全な生活を営む専門知識や技術を修得するとともに、それらを統合し思考する力、情報 発信する力、他者と協議し課題解決に向かう力を有します。

# ◆教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー: CP)

#### 【教育の特色】

- (1) 文理を融合した総合的・学際的な学びを提供しています。
- (2) 多様な学生を受け入れ、少人数制のきめ細かな教育・研究指導を行っています。
- (3) 秋季入学制度の運用を行っています。
- (4) 留学生の受入れへの対応を行っています。
- (5) 昼夜土曜開講を実施しています。
- (6) 長期履修制度を導入しています。
- (7) 計画的な指導を実施するために研究指導計画書を導入しています。

#### 【専門教育科目の構成】

国際化、価値観の多様化、高齢化、少子化等、複雑化する現代社会にあって、精神的・社会的・身体的に健全な生活を営むための人間の在り方を、文化的・科学的側面から理解する4つの研究分野(言語文化、社会文化、栄養科学、健康管理科学)に重点を置いて、総合的・学際的な教育・研究を行います。

### 【専門教育科目の特色】

言語文化、社会文化、栄養科学、健康管理科学の4つの研究分野を置いて、総合的・学際的な教育・研究を提供しています。4つの研究分野において幅広い専門性を養うだけでなく、2つの分野に共通の科目として「国際文化論」、「研究方法論」を、さらに専攻全体の共通科目として「人間文化学特論」、「生活文化史特論」、「国際保健・栄養協力論」を設置し、文理を融合した学際的な研究力を養います。

#### 【学修環境】

少人数制の教育を重視したゼミナール形式の授業と演習を行っています。また、社会人が学修しやすい環境を整えるために「昼夜土曜開講の実施」や「長期履修制度」、留学生が入学しやすい「秋季入学制度」を導入しています。

### 【DPとの関係】

高度な専門職業人や研究者を育成するために、4つの研究分野(言語文化、社会文化、栄養科学、健康管理 科学)における多彩な専門教育科目を設置しています。

# 【学修成果の評価方法に係る基本的な方針】

授業科目ごとの「授業の目標」と「成績評価の方法」をコースカタログに示し、多面的評価基準により厳正に評価を行います。また、修士学位論文は、本専攻において定めている「学位論文に係る評価基準」及び「学位論文審査及び最終試験実施要領」に基づき、査読、口頭試問、学位論文発表会を経て内容を審査し、審査委員会において評価を行います。

# ◆入学者受入方針(アドミッション・ポリシー:AP)

# 【求める学生像】

- ・多様化した社会で文化的、科学的に指導者として貢献できる職業人、研究者を目指す人
- ・言語文化、社会文化に関して高度な知識を学ぶ意欲に満ちた人
- ・栄養科学、健康管理科学に強い興味を持ち、高度な知識を修得する意欲に満ちた人

### 【入学者選抜の基本方針】

### [一般選抜]

試験の得点(専門科目、英語のTOEICまたはTOEFLのスコア、口述試問)及び出願時に提出を求める書類の内容を総合し、評価します。

専門科目、英語のTOEICまたはTOEFLのスコアに基づき、本専攻及び志望する研究分野で教育を受けるにふさわしい知識と学力を評価します。口述試問では、出願時に提出される研究計画書等に基づき、本専攻及び志望する研究分野において必要とされる基礎的な知識を備えているか、柔軟な思考力、論理的思考力等を有しているか、求める学生像に従っているか等を評価します。

### [社会人特別選抜·外国人留学生特別選抜]

試験の得点(小論文、口述試問)及び出願時に提出を求める書類の内容を総合し、評価します。

小論文を課し、本専攻及び志望する研究分野で教育を受けるにふさわしい知識と学力、論理的思考力、文章表現等を評価します。口述試問では、出願時に提出される研究計画書等に基づき、本専攻及び志望する研究分野において必要とされる基礎的な知識を備えているか、柔軟な思考力、論理的思考力等を有しているか、求める学生像に従っているか等を評価します。